

# 消防体制さらに充実

## 町消防団へ新車両3台交付

- 第5分団（小屋瀬）
- 第7分団（平船・垂柳）
- 第10分団（吉ヶ沢）

12月25日、町消防団の第5分団（小屋瀬地区、中山優彦分団長）に消防ポンプ自動車、第10分団（吉ヶ沢地区、千葉克男分団長）に小型動力ポンプ積載車が、また、1月27日には、第7分団（平船・垂柳地区、久保義明分団長）に小型動力ポンプ積載車が町から交付されました。

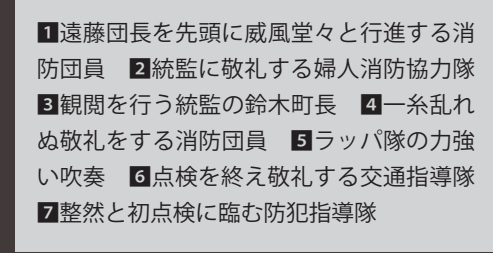
今回の交付は、既存の車両の老朽化による更新で、第10分団の車両にはエンジンカッターやAEDなどの救助資機材が搭載されています。

中山第5分団長は「分団員一同、気持ちを新たに地域の防災のために取り組んでいきます」と語り、千葉第10分団長は「新車両の装備や性能を十分に理解し、有事の際に役立てたい」と決意を新たにしていました。

また、久保第7分団長は「最新の機材で対応できるよう日々精進して訓練を重ねます」と誓いました。



役場前で行われた交付式で消防車両の交付を受ける消防団員（④第5分団と第10分団、⑤第7分団）



①遠藤団長を先頭に威風堂々と行進する消防団員 ②統監に敬礼する婦人消防協力隊 ③観閲を行う統監の鈴木町長 ④一糸乱れぬ敬礼をする消防団員 ⑤ラッパ隊の力強い吹奏 ⑥点検を終え敬礼する交通指導隊 ⑦整然と初点検に臨む防犯指導隊



盛岡中央消防署  
葛巻分署  
高橋 功一 分署長

### 火災ゼロの町を目指します

空気が乾燥するこれからの季節、暖房器具の取り扱いに注意が必要です。特に、豆炭など使用後の灰は完全に消えていることを確認してから処分してください。昨年の町内の火災は3件でしたが、出火率は盛岡広域市町村で2番目に高い数値となっています。皆さんので協力をいただきながら、火災ゼロの町を目指します。



岩手警察署  
葛巻駐在所  
畠山 和夫 所長

### 普段から声を掛け合しましょう

スリップが原因による交通事故が圧倒的に増えています。カーブや橋、トンネルの出入口などは特に注意してください。岩手警察署では「鍵かけは家に！車に！自転車に！」運動を実施しています。昨年、町内でも空き巣や自動車の盗難事件、振り込め詐欺の電話がありました。犯罪を防ぐため、地域で声を掛け合ってください。

その後、町中心部を力強く分列行進。隊列を組み、規律正しい動作と勇ましい掛け声で、町消防団の高い士気を披露しました。

遠藤団長は「消防団の本来の目的は無火災であること。今年一年、消防団と婦人消防協力隊、そして町民一丸となって、この大きな目標に全力を尽くします」と誓いました。

岩手警察署の佐藤順副署長は「葛巻町は事件・事故の少ない治安の良い町。両隊員との連携をさらに密にし、安全・安心な町・葛巻町の定着に全力を尽くします」とあいさつしました。

両隊員は、町民の交通安全と安心な暮らしを守るという決意を新たに、今年1年をスタートしました。

### 消防出初式で 高い士気を披露

消防出初式には、消防団員205人、自動車ポンプ8台、小型動力ポンプ積載車11台、婦人消防協力隊63人が参加。

統監の鈴木重男町長は、来賓と共に観閲を行い、「昼夜の別なく活動し、大きな成果を上げていることに敬意を表します。火災ゼロの町の達成を目指して、消防団のより一層の精進に期待します」と訓示。

### 交通指導隊と 防犯指導隊が初点検

交通指導隊と防犯指導隊の初点検には、交通指導隊員6人、防犯指導隊員7人が参加。両隊員は、鈴木町長から身分証や服装、警笛などの点検を受けました。

鈴木町長は「常日頃から、町民の安全・安心確保のため活動いただき感謝します。交通事故ゼロ、刑法犯ゼロの町を実現するため、より一層のご尽力をいただきたい」と訓示。

# 「町民の安全と安心を守る」 決意示す新春の勇姿

1月5日、町消防団（遠藤正樹団長）の出初式と、交通指導隊（緑川猛雄隊長）ならびに防犯指導隊（土谷典雄隊長）の初点検が社会体育館で行われ、参加した団員や隊員らは住民の安全と安心を守る決意を新たにしました。